

未来を育むまち

子どもを安心して産み育てられる環境があることは、まちの未来をつくる大切な要素です。
少子・高齢化や人口減少が進む中「ここで子育てしたい」と思えるまちづくりが求められています。
市では、独自の子育て支援を充実させ、家庭の負担を軽減し、
地域で子どもたちを育む取り組みを進めています。
本特集では、支援の内容や関わる人たちの思い、実際に活用している皆さんの声を紹介します。
みんなで支え合いながら、より良い子育て環境を築いていきませんか。



Stage 1 妊娠・出産

出産・子育て 応援給付金

10万円



出産祝金

第2子10万円、
第3子以降20万円



子育て世代 包括支援センター ぽけっと

保健師や助産師が、
妊娠期から子育て期の
相談を受け付け

産後ケア

出産後の心身のケアや
育児をサポート

養育医療

小さく生まれた
赤ちゃんの
医療費を一部助成



Stage 2 就園前

子育て学級、 離乳食教室

遊びや食事など、
育児について
学ぶ場

乳幼児 紙おむつ給付

月額3千円分の
紙おむつ購入券



子育て支援センター ハニカム

育児相談の受け付けや、
親子の遊びと
交流の場

ブックスタート

読み聞かせと絵本の
配布で、親子の
触れ合いを支援

ことばや 発達の相談

心理相談員などが、
発達に関する相談を
受け付け



※合計特殊出生率とは、1人の女性が15～49歳までの間に産む子どもの平均数を示す指標です。



学校図書館 司書の配置

児童・生徒の
読書活動を支援

放課後児童 クラブ

共働き家庭を
サポート

Stage 4

小・中学校

英語教育の 充実

各学校にALTを配置、
英検3級の検定料を
補助

情報教育の 推進

全ての児童・生徒に
タブレット端末を
配布

学校給食費

第3子以降は無料



おひさまテラス、 公園

伸び伸び遊べる
屋内公園や大きな
複合遊具

保育所、 認定こども園、 幼稚園

待機児童0人

ファミリー・ サポート・センター

子どもの送迎や預かり
など、地域で
子育てを応援

病児・病後児保育

病児・病後児の
一時的な預かりを
実施

一時預かり

保育所などで、
一時的な預かりを
実施

保育料

第3子以降は無料



Stage 3

就学前

18歳までが対象 子ども医療費助成

旭市に住民登録のある0～18歳(高校生相当)の子どもの対象に、医療機関受診や薬の処方時の自己負担額が、全額または一部助成されます。

すくすく育つ!
あさひの子育て応援ガイド

ライフステージごとの 支援がまるわかり

子どもたちの健やかな成長を支える
ため、ライフステージに応じた支援を
行っています。妊娠期から中学校卒業
までの各段階で受けられる主な支援を
紹介します。※令和7年3月1日現在。



くわしくは
子育てサイトで